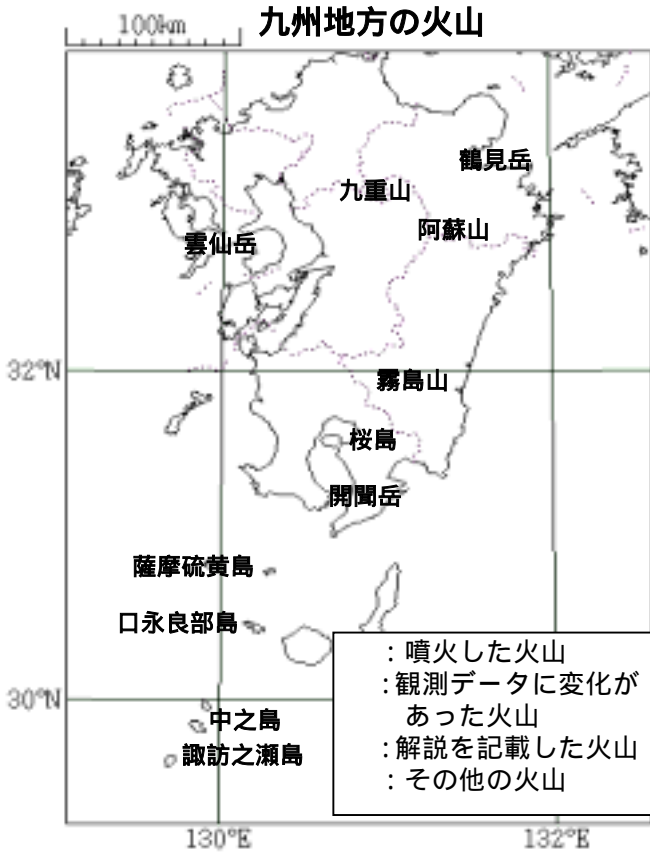


九州地方の火山活動解説資料（平成 14 年 10 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター



：桜島

桜島南岳は、中旬に噴火活動がやや活発でしたが、上旬、下旬は比較的穏やかでした。噴火回数は 11 回で、そのうち爆発は 9 回でした。火山性地震は少ない状態で経過しました。

：諏訪之瀬島

火山活動はやや活発でした。爆発的噴火を 3 回観測しました。また、800m に達する火山灰混じりの噴煙も確認されました。

：阿蘇山

火山活動はやや活発でした。中岳第一火口の南側火口壁下の温度は依然として高い状態で、火口内は全面湯だまりが続いています。

孤立型微動が 4 ~ 7 日にかけてやや多発し、5 日の 184 回をピークに減少しました。孤立型微動の増加に伴う表面現象は観測されませんでした。

：霧島山

19 日に御鉢を震源とする火山性微動を観測しました。火山性微動発生後から、御鉢付近を震源とする地震がやや多くなりました。

新燃岳、御鉢には表面現象に変化ありませんでした。

：九重山、雲仙岳、薩摩硫黄島、口永良部島

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
霧島山	火山観測情報 4 号	19 日 10 時 00 分	微動・地震の状況

次回の火山活動解説資料の公表は 12 月 6 日(金)の予定です。